



昭和女子大学附属昭和小学校

https://es.swu.ac.jp/admission/

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57
☎+81-3-3411-5114

2024年4月、
新しい昭和小学校が始まります。



『世の光となろう』というスクールモットーのもと、子ども園・小学校は共学、中学・高校・大学は女子の一貫教育を提供しています。24年度には小学1年次から「国際コース」「探究コース」の2コースが新設され、各コースで主体性を培い「自分リーダーシップ」*を発揮できる子を革新的なアプローチで育みます。

*何があってもどんな場面でも、自分の良さや可能性を信じ自他の向上のために影響を与え共に高まり合って自らの生き方を作っていく力



女子児童のうち8割が附属昭和中学・高校へ進学、男子児童は首都圏の私立中学などへ進学している。

新設「国際コース」ケンブリッジ国際導入へ

学習指導要領に則りながら、国語や道徳・社会は日本語で学び、他の教科などの多くを英語で学ぶイメージ教育をすすめる。世界標準の力を育みながら、「ケンブリッジ国際」を導入し、世界に心を開くグローバルマインドを育成。

新設「探究コース」

STEAM教育を進め、「言葉と体験」の往還を重視し探究的な学びで一人ひとりの資質・能力を伸ばす。今後のAI社会に必要な技能(自ら学び理解し、さらに興味のあることを見つけて学べる力)を養うべく体験学習や教科横断型の学習を重視。プログラミング学習や出前授業などを実施するとともに、日本語での「発表・書く」技能、英語でのプレゼンテーション能力を磨く。音楽・図工・体育は専科教育と英語科教員の二人体制で指導。

授業の65%を英語で学びます。

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語活動	外国語	特別活動	道徳	総合学習
1年														
2年														
3年														
4年														
5年														
6年														

宿泊体験学習の目的と実施日時

※2023年度実施予定

1年	9月	1泊2日	災害対策で学校宿泊
2年	6月	1泊2日	災害対策で学校宿泊
3年	7月	1泊2日	5年生と一緒に田園学寮、自然観察など
4年	5月	1泊2日	6年生と一緒に田園学寮、自然観察など
5年	7月	2泊3日	2泊のうち1泊は3年生と一緒に田園学寮
5年	2月	2泊3日	望秀学寮。自然観察や奉仕活動など
6年	5月	1泊2日	4年生と一緒に田園学寮。茶摘み体験など
6年	7月	3泊4日	修学旅行で日光へ。史跡や地域生活を学習
6年	2月	2泊3日	卒業旅行。6年間を振り返り、自己確認
5・6年の希望者	8月		11日間のボストン・フレンドシップ・ツアー

昭和小学校アフタースクール(学童保育)

社会福祉法人「共生会 SHOWA」が運営。下校後や休校日に仕事や介護・病気などにより家庭で面倒が見られない児童対象。学園の充実した施設を活用しながら、経験豊かなスタッフのもと昭和小学校の教育方針を踏襲して児童の能力と個性を伸ばす。宿題・おやつ後は校庭・体育室での遊びの他、希望者には学園内の施設で習いごと(英語・サッカー・体育教室など)も可能。



放課後	入室 連絡帳提出 家庭学習タイム(15~30分) 自由遊び(室内または学内グラウンド)
15:00~15:30	おやつ 終了後自由遊び 希望者は習いごと
16:50	帰宅準備
17:00	順次帰宅(ひとり帰りは18:00まで)
19:00	閉室

Lead yourself

「自分リーダーシップ」で豊かな成長を支えます

前田 崇司 校長



私たちは今、グローバルな時代、AIの進む情報化社会にいます。また、世界は平和や多様性が求められる重要な岐路にあるとも言えます。本校は、伝統を大切にしつつも、変化する未来に果敢にチャレンジしながら、さらなる進化・発展で教育の質を高め、自分リーダーシップを発揮できる子どもたちの育成を目指します。リーダーシップ教育を基盤に低学年からの英語教育の拡充やSTEAM教育などの先駆的なカリキュラムを推進し、本校ならではの環境を生かした学びの連続性やアフタースクールの充実など時代に合った教育支援システムを構築していきます。

昭和小学校は

「国際化」を加速します

昭和女子大学 坂東 真理子 校長



本校には「グローバルに活躍する人材」となるための環境が最高に整っており、さまざまな機会や刺激を提供しています。同じキャンパスに米国の州立テンブル大学ジャパンキャンパス、プリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和が立地し、日常的に交流があります。海外キャンパス「昭和ボストン」では現地で暮らし学ぶことが可能で、現地の小学生との交流も行っています。外国語の基礎を養った上で日本文化をしっかりと理解した「世界で通用する人材」を育成します。

学校説明会日程(予定)

事前予約制、詳細は3月以降本校ウェブサイトをご覧ください。
校舎見学ツアー……………随時
説明会・体験授業……………4月・5月・6月
説明会・個別相談会……………9月
※個別見学も可能です。直接お問い合わせください。

入試日程(予定)

出願時期……………10月初旬
① 親子面接……………10月の土日
※国際コースを希望される場合は、お子さまに対して英語での面接があります。
② 発育調査……………11月初旬



聖心女子学院初等科

〒108-0072 東京都港区白金 4-11-1
☎+81-3-3444-7671

世界32カ国に姉妹校が広がる
創立115年の伝統校が、転入・編入も歓迎しています。



「より良く生きるための12年間を、ともに」を大切に、女子の成長に合わせた4・4・4制を実施しています。高校卒業後は医療系、理系・文系・海外へと幅広く羽ばたいています。

自分の考えを伝える手段としての「英語力」

世界に広がる聖心のグローバルネットワークを活かした留学や研修・体験プログラムが豊富。海外姉妹校からの留学生と交流するなど、日本にいながら英語をアウトプットする場面が多々ある。

体験的な実験・観察の機会が充実した「理科教育」

校内の豊かな自然環境を活用。光学顕微鏡や双眼実体顕微鏡など、1人1台の実験・測定器具を完備。綿花の栽培、紡糸、染色・ミツバチの体の観察・豚の目、鶏の心臓の解剖など実験が豊富。

初等科から中・高等科に繋がる「探究学習」

5・6年生では各自テーマを設定。中等科から教科ごとのレポート作成により、専門性が深まっていき、12年生(高校3年生)の総合的な探究の時間に繋がっていく。研究のねらいを明確にし、多角的多面的に追求する。



魂を育て、知性を磨き、実行力を養う それが聖心の教育方針です。

校長 Sr. 大山 江理子

聖心女子学院は人を育てる学校です。学力はもちろん、キリスト教的価値観に根ざした雰囲気の中で学校生活を過ごし、行事や部活動を通して友人と関わり、実行力を備えた芯のある女子として育てていくことをめざします。中高12年間一貫女子教育として4・4・4制の3ステージ制をとりながら、グローバルな視野、ジェンダー意識も磨いていきます。信頼できる人間関係の豊かな経験をもった、落ち着いたと活気の両方が本校生の底力です。



入試日程・概要

5年 転入・編入
募集人数:初等科5年女児 約24名
出願登録:受付中~2023年12月7日(木)
願書受付:23年12月6日(水)・7日(木)当日消印有効
入学試験:24年1月13日(土)
国公立の4年生に在籍している児童、または海外の学校に在学していて24年4月から5年生に編入学が可能な帰国子女児童
初等科 1~4年生
欠員がある場合、各学年若干名募集
募集がある場合は本校サイト「お知らせ」に掲載
※23年7月に2~4年実施。24年1月新2年生実施予定。

学校説明会日程(予定)

初等科1年……………24年6月8日(土)・9月7日(土)
初等科5年転入・編入/中等科1年帰国生……………6月22日(土)・11月16日(土)



つくば国際大学東風小学校

〒302-0110 茨城県守谷市百合ヶ丘 一丁目4808番15
☎+81-297-44-6771 ✉mail@harukaze-es.ed.jp

児童の1/3が国内のインターン・海外の国出身。
「真のリーダー、真のエリート」を育成します。



児童が主体的・協働的な学びを通して発見の喜びや楽しさを体感する中で、一人ひとりが課題意識をもって自ら学び、自ら考える力を育てていきます。

複数担任制で手厚い指導

1年生(1クラス約20~25名)は全教科を2人で指導。丁寧に繰り返し学ぶことで基礎・基本を身に付けていく。全学年複数担任制で生徒一人ひとりに目が行き届く体制を維持。学校として漢字検定や数学検定は毎年全員が受験し、漢字検定においては3年連続で「最優秀団体賞」を受賞。

学校全体で中学校受験をバックアップ

ほぼ全ての児童が中学を受験。中学受験に精通した塾講師を招き、保護者も参加しながら傾向と対策を学び、適性検査型試験対策を実施。「英語型試験」「帰国生入試」についても、中学校との連携を図り積極的に対応。

日本の伝統文化に触れ、国際理解教育を推進

1年次から英語の授業を実施。4技能の習得だけでなく、季節行事などで自然に生きた英語に親しむ。一方で、「日本の伝統文化を知ること」は国際人の必須条件と考え、月に2時間「箏」の授業を実施。アフタースクールでも茶道・能・書道・百人一首等の講座を設け、校内で日本文化に親しんでいる。本校独自の「ことばの時間」では、ことわざ・短歌・百人一首などで多方面から日本語に触れ、暗唱することで将来の土台となる知識・教養を積み上げる。



一人ひとりに寄り添い、 その子の能力や特性を見極めます。

校長 本橋 正範

本校は「子どもたちを大切に育てます」というキャッチフレーズのもと、「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成に努めています。毎週土曜日の午前中も授業を行うため、十分な時間の中でじっくりと学ぶことができます。ほぼ全ての生徒が中学校受験をする学校として定着しており、中等教育学校や塾と連携をしながら合格に向けて手厚くサポートします。受験教科は3年生から先取りをはじめ、6年生の11月からは希望校の過去問に取り組みなど「団体戦」で努力しています。



入試日程・概要

転入・編入 随時、本校ウェブサイトより受け付け。学校見学も可能。
※詳細は直接学校へお問い合わせください。
入試日程(予定)
第1回……………2024年9月
第2回……………11月
第3回……………12月

学校説明会日程(予定)

第1回……………2024年2月
第2回……………3月

